



拓け！自らの可能性

進路だより 第3号

令和4年12月23日発行

～社会参加に向けて～

だて支援学校キャリア支援部

高等部後期現場実習を終えて

高等部 K.K

私は喫茶班で接客を中心に校内実習を行いました。特に実演会では、たくさんのお客様と接する機会があり勉強になりました。接客業務で気をつけたことは、一つは伝票を書いた後にしっかりとペンをしまうことです。前期の実習では忘れることが多く、反省をした点です。そのため今回は、常に意識してきちんとしまうことを心がけました。

もう一つは、飲み物やお菓子の出す順番に気をつけました。間違えて覚えたことを実演会前日のリハーサルで教わり、気づいて直せてよかったです。校内実習で覚えたマナーなどをこれからの学校生活に生かしてゆきたいです。

高等部 H.T

私は伊達市にある株式会社内田化工福島工場で後期現場実習を行いました。実習では、果物が傷まないように箱の底に敷く緩衝材の梱包を行いました。最初は梱包のやり方のコツがつかめず、1時間に2～3個しかできませんでした。しかし、担当の方が丁寧に教えてくださったおかげで、1時間に6～7個できるようになりました。一番難しかったのは、製品を押しながら袋を結ぶことでした。休憩中は歴史の本を読んでいたところ歴史の好きな人がいて、たくさん話をしました。

今回の実習をとおして、行動が遅いという自分の課題を知ることができました。今後この課題を解決するために、時間を意識して生活していきたい思います。

高等部1学年主任 菊田 紋華

1年生は校内で「喫茶グループ」と「事務グループ」の2グループに分かれて、喫茶接遇やメモ帳製作に取り組みました。お客様に喜んでいただくためにはどのようにすれば良いのかを考えながら練習を重ねました。実演会や販売会では、実習の成果を保護者の方をはじめ多くの方に見ていただくことができました。お客様からの「おいしかった。」「使いやすい。」「ありがとう。」などの温かい言葉が書かれた感想カードを何度も読み返す姿が印象的でした。2週間の実習を最後までやり遂げることができたことは生徒たちの大きな自信になりました。

実習を通して、自分自身での振り返りや他者からの評価により自分の良さや課題がより具体的になりました。実習後、大きな声で話したり、自分からあいさつしたりと少しずつ課題を改善しようとする姿が見られます。今後も自分の課題を意識しながら学校生活を送ってほしいと思います。

高等部2学年主任 鈴木 陽子

2学年は全員が前期と異なる場所で後期現場実習を行いました。各自、前期実習の反省を踏まえた目標を立てて臨みました。例えば「作業の報告や相談を自分からする」等です。これらは普段の学習でも繰り返し意識づけして行っていることですが、実際に「働く」場面ではどう生かせるか問われるのが現場実習という機会です。大人にとって当たり前でも、生徒にとって外で発揮する事はハードルが高く感じられるかもしれません。しかし、1年3か月後には卒業し自立を目指していかなければならないのが現実です。実習で目標達成→自信に繋がり、成長が感じられる事もあれば、「自分の考えを担当者に伝えられなかった」といった反省が未だになかなか生かされない様子も見受けられます。現場実習時だけで目標を終わらせるのではなく、普段の生活と一続きになって進路は見えてくるものですので、ご家庭と連携しながら進路実現に向けて指導・支援していきたいと思えます。

中学部校内実習を終えて

中学部 S.K

10月11日から10月21日までの9日間、校内実習をしました。実習では、学校や保原総合公園の清掃活動や草むしりと木工作業でフルーツコンテナ作りをしました。その中で僕が一番がんばったことは、フルーツコンテナの組み立てです。組み立ての仕方を覚えて、一人でも組み立てができるようになりました。工具を使って木に穴をあけたり、ネジで止めたりすることができました。

次の現場実習では、先生の指示をよく聞いて作業をしたいと思います。

中学部 K.S

10月11日から21日まで、校内実習がありました。

ぼくは、「フルーツコンテナの組み立てをていねいに」を目標としてがんばりました。

実習では、サンダー、とそう、組み立て、やき印、草むしりの仕事をしました。意識したことは、組み立てでしんちょうにビスうちをやることです。いちばんがんばったことはやき印と組み立てです。フルーツコンテナの組み立てとやき印は、合わせて10台以上行うことができました。

高等部に入学したら、裁縫の活動をやってみたいですよ。

中学部教諭 武田 吉英

10月11日(火)~21日(金)までの9日間、校内実習を行いました。1年1組、2年1組、2年2組、3年1組では、フルーツコンテナ製作の木工作業を中心に、校地内の除草作業や保原総合公園での地域との交流清掃作業などを行いました。

1学期はフラワースタンド製作を行いました。今回の校内実習では少し難易度を上げたフルーツコンテナ製作を行いました。材料のやすり掛けや塗装、組み立てなどの作業にも丁寧さが見られるようになり、製品の質も少しずつ向上してきていると感じました。電動ドリルやドライバー、サンダーなどを使った作業では、安全に気をつけながら作業に取り組むことができました。

校内実習の中で行った地域との交流清掃活動では、保原総合公園の落ち葉はきや、伊達市スポーツ振興公社様の御厚意で、野球場内の見学を兼ねて除草をさせていただきました。さらに、伊達市緑化推進事業でいただいた花の苗を、校地内に植える作業も行いました。

校内実習を通して、仲間と協力することや働く事の大切さに気付いてくれることを願っています。

令和4年度年金セミナー

12月6日に日本年金機構東北福島年金事務所から青柳様と三島木様を講師にお迎えし、年金セミナーを実施いたしました。

まず、高等部3年生を対象に公的年金の仕組みについて物語等を交えて、分かりやすく、丁寧にご講話いただきました。生徒たちからは、「きちんと年金を払える大人になりたい。」「二十歳になったら、申請をしたい。」などの感想が聞かれました。

次に保護者の方に向けての講演では、実際に使用する資料を用いて申請の方法や書類の記入方法について細かく、実践的にご説明いただきました。併せて、保護者の方からの質問にも丁寧にお答えいただきました。参加した保護者の方からは、「何も分からず不安でしたが、初めの一步を踏み出すことができた。」「大まかな流れを知ることができた。」「とても貴重な機会となった。これから繰り返しセミナーを受けるようにしたい。」などの意見が聞かれました。

青柳様、三島木様、貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。



新規福祉サービス事業所紹介

○生活介護事業所 杜の笑(もりのえみ)

- ・住所:伊達市宮前2-2
- ・電話:024-573-2434
- ・活動内容:散歩、制作活動、買い物練習、畑作業等

○就労継続支援B型事業所 ユニティー

- ・住所:伊達市保原町上保原字久シ原64
- ・電話:024-563-1004
- ・作業内容:農作物販売、飲料販売、製作活動等